

7月・8月の生活福祉保健委員会



辻議員は、7月の委員会で、県と広島エアポートビルディング開発株式会社（HAV）間の委託契約は、売買契約にあたるのではないかと追及。被害が多発している架空請求問題、「松信会」の不明金問題を取り上げました。また、8月の委員会では、「黒い雨」降雨区域の拡大と、その再調査について質問しました。

フォレストヒルズガーデンの 備品整備は売買契約

辻議員は、フォレストヒルズガーデンの家具、装飾品など調度品の購入経費が立替金として処理されていることをあげ、「HAVが立替えて購入したことになる。物品の委託契約ではなく売買契約だ」と決算書を示し、迫りました。

2002年（平成14年）6月28日、当時の環境局長が「委託料については、県の方で委託料と説明しているが、まさに備品のこと」と答弁したことも紹介し、「立替えでない」という主張が通らないと追及しました。

環境創造総室長は、「フォレストヒルズガーデンは、備品も一体として、施設としての機能を果たしている。備品購入はHAVに委ねたが、それに対する対価の支払いが、備品の購入相当額」とのべました。

辻議員は、あくまで委託と主張する県に、「8年にわたって、家具、調度品の購入総額を分割払いしていくことは、『契約書』の返済計画と一緒に、売買契約ではないか」と重ねて追及しましたが、それには答えませんでした。

辻議員は、管理委託は成り立たないとし、「利用料金制でHAVが施設を管理運営して、運営は広島エアポートホテルへ丸投げするようなことをやっている。しかも、当時の環境局長も、『維持管理にかかわる部分の経費については利用料金制であるため、すべて向こうの責任である』と語っている。『備品整備及び管理業務委託契約』は成り立たないと思う」と質問。

環境創造総室長は、「県の公の施設としての維持管理をやっているという観点で、維持管理という契約にしている」と、答えるだけでした。

業者をホームページで公開を

架空請求による被害が県内でも多発するなか、県はホームページに実物を公表し、被害防止を呼びかけています。辻議員は、長野県と福島のホームページも紹介しながら、さらに業者の名前も公表し、被害にあわないような対策を求めました。

旧理事らの責任は明白、 不明金の回収を求め

「松信会」問題で、辻議員は、不明金回収の見直しと前理事長、旧理事らの責任問題等について尋ね、引き続き、厳正な対応を求めました。

福祉指導室長は、前理事長、その遺族からの回収は困難だが、旧理事らには、前理事長の専横的な権限等を放置したことなど、法人としての責任が問われるという考えをのべました。



「黒い雨」降雨地域の拡大は当然

辻議員は、県が今年は例年と違って、「黒い雨」降雨区域に関して「原子爆弾被爆地域の拡大に関する要望書」として別立てした理由を求めました。被爆者・毒ガス障害者対策室長は、2002年（平成14年）4月、長崎で地域拡大が認められる方向が示されたことや、広島市の調査で「黒い雨」が健康状態に影響を与えているという報告がされたことをあげました。

周辺降雨地域の再調査せよ

辻議員は、広島市が、「黒い雨」降雨地域を調査し、その影響があるという根拠が確認されたことを示し、県も関係する市町と共同して調査をおこなう必要性と、（国が）仮に小雨地域を認定したとしても、それ以外の地域でも、「黒い雨」が降ったという証言が相当数あることから、再度、国にたいして、周辺地域の調査を要望する意思を求めました。被爆者・毒ガス障害者対策室長は、県独自の調査については、「最初に要望している地域のほとんどが広島市の区域で、類推適用できる」と、その意思のないことを表明。国にたいしては、今回の要望書の返答を待って、広島市と対処する考えを示しました。

砂谷村が追加要望

辻議員が、今回の要望書で、対象地域に砂谷村（湯来町砂谷）がもれていることを指摘し、追加を要求しました。これについては、

副議長が辞任 = 9月定例議会 =

6月議会の最終日、副議長不信任決議が、自民党議員会と公明党、県民同志会の賛成多数で可決されました。私は、これに反対しました。副議長不信任の理由に、大義も道理もないからです。

不信任決議の理由は、「長年の慣例を破棄した」「円滑な議会運営を阻害させた責任」というものでした。しかし、副議長人事はこれまで、自民党が1年交代のたらい回しをしてきただけで、県議会の慣例ではありませんし、任期は4年です。また、副議長が、円滑な議会運営を阻害したことなどありません。円滑な議会運営を阻害したのは、むしろ、自民党議員会と公明党、県民同志会で、副議長ポストをめぐるの派閥争い、党利党略の不信任決議案提出といえます。この問題は9月議会まで持ち越されました。

9月議会の最終日、副議長は一身上の理由ということで辞任しました。副議長選挙は無記名投票で行われ、結果は宇田伸氏 = 38票、平浩介氏 = 30票、無効票が2票で、宇田氏が新しい副議長に選出されました。私は自民党刷新会の平浩介氏に投票しました。それは、昨年の議長選出で、開かれた県政、県議会の民主的運営に向けた改革を進める立場でとった態度を考慮したものです。（辻つねお）

辻議員の所属委員会が、生活福祉保健委員会から文教委員会になりました。